



守りたい 地域の生命！ 生活を！

おかもと陽子 通信



発行：岡本陽子後援会 宗像市自由ヶ丘 7-6-1 0940-25-5344

2026.01

taiyoudaisukinayoko@gmail.com 皆様のご意見をおまちしています



“聴かせてください！あなたの声を！”

昨年 11 月 5 日議会報告会では、市民約 60 名の方々が集い意見交換しました。

(メイトム宗像にて)



12月19日、令和7年12月議会が終了しました。36議案について活発な議論を交わしました。議会が「**市民の中に溶け込む存在**」に。市民の皆さまの不安や喜び、小さな気づきを丁寧に受け止め**“聴く力”**を大事にした議会運営を進めてまいります。

いま市政で動いていること | 12 月議会レポート

① 部活動改革

子どもたちの選択肢を、地域で広げる」

学校部活動の在り方が、全国的にも大きく変わろうとしています。

宗像市議会 12 月議会では、**部活動の地域移行(地域連携)**について議論が行われました。少子化や教員の負担軽減という課題がある一方で、「**誰が担い手になるのか**」「**家庭の経済的負担はどうなるのか**」といった不安の声もあります。子どもたちがやりたいことを、あきらめなくてすむ仕組みづくり。現場の声を大切にしながら、丁寧な制度設計が必要だと感じています。

② コミュニティ活動

支え合いの輪が、暮らしの安心につながる」

地域コミュニティの在り方についても、活発な議論がありました。

自治会・校区コミュニティ・ボランティアなど、宗像にはすでに多くの“人のつながり”があります。

一方で、

- 担い手不足
- 役割の固定化
- 負担の偏り

といった課題も見えてきています。

③ 公共交通

「移動できることは、生きる選択肢」

12 月議会では、公共交通の維持・確保も大きなテーマでした。特に、高齢者、学生、車を運転しない方にとって、移動手段は日常生活に直結します。

「**バスが減って外出しにくくなった**」

「**通院や買い物が大変になった**」

そんな声を、私自身たくさん伺っています。移動できることは、社会参加できること、持続可能な交通の形を考え続けます。

令和7年度 宗像市 12月補正予算(追加)の概要



主な目的:物価高騰対策が中心、市民・子育て世帯・事業者・公共交通を幅広く支援



予算規模

補正額: + 約 12 億 2,000 万円

補正後の一般会計: 約 517 億 6,000 万円



財源

国の物価高対策交付金や普通交付税の増額が中心
一部、基金(貯金)は取り崩しを減額



市民向け支援 : 全市民に1人5,000円支給

: 0歳～高校3年生までの子どもに1人2万円支給(子育て応援手当)



事業者・地域経済支援: プレミアム付き商品券「むな Pay」発行

: 中小事業者向け支援(賃上げ促進の相談・支援など)

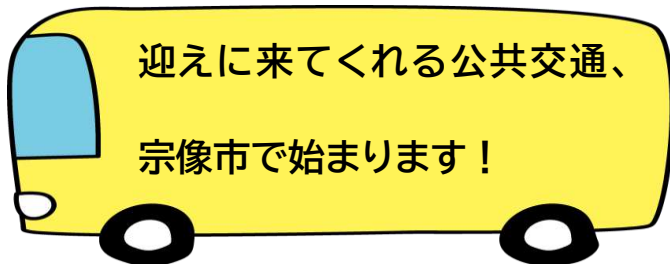


子ども・地域活動 : 地域クラブ活動(部活動地域移行)の保護者負担軽減

: 文化・スポーツ活動を支援



福祉・保育現場 : 保育・介護・福祉施設の光熱費高騰への支援



いつから始まるの?

- 令和7年4月: 試し運行をスタート
- 令和8年3月1日: 本格的にスタート予定



使い方はとても簡単

- 事前予約が必要です
- 電話 または スマートフォンで予約
- 使う日の7日前から予約できます



行ける場所・使える地域は?

- 自由ヶ丘地区 ・河東地区
- 南郷地区 ・池野・岬地区



気になる料金は?

- 大人: 500 円 ・高校生以下: 300 円
- 70 歳以上・障がいのある方: 300 円
- 小さなお子さん: 無料
- 地域外: 距離に応じて100円追加

現場に答えがある

岡本陽子の地域活動



部活動地域展開(移行)

令和7年11月30日 宮内衆議員議員、下野参議院議員を迎え、関係者と懇談会を実施。

令和9年本格施行を目指しているものの、教員の働き方改革のみならず、保護者の送り迎えの負担、子どもにとってスポーツや文化の効果をもたらすしくみを整えてほしい。地域クラブ指導者への支援も必要など現場の実情を訴え、国の支援も求めました。



市民体育館で
右: 下野議員
中央: 岡本
左: 木村市議